

～～第8410回～～

玄岳

～H30. 4. 7～

7日未明激しい風雨が吹き荒れ、心配された天候も朝方にはすっかり上がり朝陽がさしていた。週間天気雨と報じられ覚悟していた参加者は、ほっとして玄岳に向け出発した。熱海峠から伊豆スカイラインに入ると車窓から雨上がりの相模湾と駿河湾が視界に入ってきた。この一帯は本州と南の海からのプレートとともにやってきた半島の付け根にあたる。西丹那駐車場でバスを降り、身支度を済ませ笹の山道に入った。おおよそ15分で玄岳山頂に着いた。玄岳は箱根火山より古く多賀火山が大きく浸食されて残った地形と言われている。西からの風が激しさを増し上空には雲が勢いよく流れていた。パノラマを期待していたが眺めている余裕もなく山頂を後にした。ここからの下り道はツルツル状態で、雨が降っていたら泥まみれになっていたと天候の回復に感謝した。アンダーパスを三ヶ所くぐり抜けると間もなく氷ヶ池に着いたが、池の水面は強風で波立ち日差しは消え山頂より厳しい天候となっていた。ササの登山道を進むと、やがてうす暗い杉林に入った。斜面のところどころに太古の火山の記憶が刻まれているような苔むした巨石が転がっていた。氷ヶ池から一時間ほどで次のジオパーク「丹那断層公園」に到着、昭和5年に起きた丹那盆地を震源とする北伊豆地震(M7.3)痕跡を見学し昼食をとった。午後は「酪農王国オラッチェ」で休憩を取り「伊豆エメラルド鉄道」のミニチュア蒸気機関車・ドクターイエローの試乗へと向かった。後日オーナーから「この日エメラルドタウンの別荘地に、午前中には未就学の可愛い子供300人が訪れ、昼下がりには無邪気に楽しむワングルの高齢者26人の声が響き渡った」と報告があった。帰路、車中では副会長の「山のお話し第二弾“日本300名山”」解説を聞きながら家路に着いた。

参加者：26名（静岡西18、島田4、静岡北3、富士宮1）

天候：曇りのち晴れ

地図：熱海・網代

コースタイム：広野 630＝市川園 635＝熱海峠 840＝西丹那駐車場 855…玄岳 910-20…氷ヶ池 1005-15…辻牧場 1100…丹那断層公園 1125-1200…酪農王国オラッチェ 1205-1300＝伊豆エメラルド鉄道 1315-1400＝村の駅 1430-1500＝広野 1700

記録：静岡西支部 近藤博義